平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年７月23日

上 場 会 社 名	キーコーヒー株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2594	URL	http://www.keycoffee.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	柴田　裕
問合せ先責任者	(役職名) 財務部長	(氏名)	橋口　芳久　(TEL) (03)3433-3311
四半期報告書提出予定日	平成24年８月６日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	14,023	7.8	425	103.0	493	76.6	249	133.3
24年３月期第１四半期	13,012	3.7	209	△35.0	279	△29.5	106	△22.3

(注) 包括利益 25年３月期第１四半期　200百万円(　69.2%)　24年３月期第１四半期　118百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	11.26	―
24年３月期第１四半期	4.82	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	45,393	33,113	70.5
24年３月期	44,575	33,033	71.6

(参考) 自己資本 25年３月期第１四半期　31,985百万円　24年３月期　31,918百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	5.00	―	5.00	10.00
25年３月期	―				
25年３月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	26,900～27,600	3.1～5.8	150～280	―	250～380	115.1～227.0	80～130	―	3.61～5.87
通期	54,400～56,900	1.2～5.9	230～610	―	450～840	75.1～226.9	40～160	―	1.80～7.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	22,464,000株	24年３月期	22,464,000株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	329,820株	24年３月期	329,534株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	22,134,274株	24年３月期１Ｑ	22,134,820株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年４月１日から平成24年６月30日までの３ヶ月間）における当社グループを取巻く経営環境は、東日本大震災の影響から緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州金融問題や電力の安定供給への不安、低調なまま推移している個人消費など厳しい状況が続きました。

コーヒー業界は、ここ数年高値圏で推移していたコーヒー生豆相場が最高値圏を脱したものの先行きは不透明であり、コーヒー以外の製品の原材料となる砂糖や穀物類などの国際相場も高騰し予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループはコーヒーの持つ魅力を生活者にお届けし続けるという企業使命を果たすため、「品質第一主義」の経営理念に基づき、「収益性の改善」と「市場競争力の強化」を２つの柱として新たな事業領域の開拓、生活者のニーズにお応えする新商品の開発、お客様との絆を深める企画提案型の営業活動を展開し、業績の回復に努めてまいりました。

これらの結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の売上高は、140億23百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は４億25百万円(同103.0%増)、経常利益は４億93百万円（同76.6%増）となりました。また、四半期純利益は２億49百万円(同133.3%増)となりました。

セグメントの営業概況は次のとおりであります。

（コーヒー関連事業）

業務用市場では、「トアルコ トラジャ コーヒー」や「氷温熟成珈琲」など差別性の高いプレミアムコーヒーの拡販活動を推進致しました。また、お取引先への支援策として、「夏のカレーフェア」や「トロピカルマンゴーフェア」などを実施するとともに、「野菜たっぷり赤カレー」や「オリジナルジュース」などの新商品を発売致しました。また、カフェビジネスを成功に導くスキルや最新の情報提供を充実させる施策の一つとして、アメリカやカナダで開催されている体験型講座である「バリスタネーション」を日本で始めて５月に開催致しました。

家庭用市場では、大正時代の味わいを再現した「横濱1920 CLASSIC」をドリップオンの形態で新発売致しました。手軽にカフェ気分が味わえる割りカフェシリーズに「抹茶オレベース」、「バナナオレベース」の新商品を投入、水出しコーヒーシリーズには「氷温熟成珈琲 水出し珈琲」を新たに投入しました。

ギフト商品では、中元期に「氷温熟成珈琲 アイスコーヒー」や「氷温熟成水出し珈琲＆ドリップオン」を詰め合わせたギフトなど全42アイテムをラインアップ致しました。

なお、2012年度モンドセレクションにおいてアロマフラッシュ「鮮やかな香り キリマンジェロブレンド」が２年連続『最高金賞』を受賞し、2012年iTQi（国際味覚審査機構）においては、「真空パックスペシャルブレンド」が『優秀味覚賞“三ツ星”』を受賞するなど、数々の当社製品が世界で高く評価されました。

この結果、当第１四半期連結累計期間におけるコーヒー関連事業の売上高は117億38百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は４億12百万円（同67.6%増）となりました。

（飲食関連事業）

株式会社イタリアントマトでは、「初夏のカップスイーツフェア」「夏のフードフェア」「夏のコールドドリンクフェア」などの販促策を実施しております。また、「国内は充実」「海外は拡大」の方針の下、国内では消費動向を慎重に見据えて堅実な出店を目指し、海外ではアジア地域での新規出店を進めた結果、国内では大学キャンパス内への出店、海外では福建省廈門市に「イタリアン・トマト カフェ　アモイ中華城店」など国内外に４店出店致しました。一方、不採算店６店を閉鎖し、店舗数は301店（直営店69店、ＦＣ店232店）となりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間における株式会社アマンドを含めた飲食関連事業の売上高は16億35百万円（前年同期比25.0％増）、営業利益は71百万円（同212.1％増）となりました。

（その他）

その他事業の売上高は６億49百万円（前年同期比0.6％減）、営業利益は72百万円（同8.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

総資産は前連結会計年度末に比べて８億17百万円増加し、453億93百万円となりました。

流動資産は12億21百万円増加し、242億64百万円となりました。これは現金及び預金の増加（９億24百万円増）、受取手形及び売掛金の増加（４億39百万円増）などによるものであります。

固定資産は４億３百万円減少し、211億28百万円となりました。有形固定資産は、建物及び構築物等の減価償却が新規取得額を上回ったことなどにより１億35百万円減少しました。無形固定資産は４百万円増加しました。投資その他の資産では、投資有価証券の減少（２億50百万円減）などにより２億72百万円減少しました。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比べて７億37百万円増加し、122億79百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて６億95百万円増加し、96億10百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が増加（７億44百万円増）したことなどによるものであります。

固定負債は42百万円増加し、26億69百万円となりました。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比べて80百万円増加し、331億13百万円となりました。これは利益剰余金の増加（１億38百万円増）などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、現時点において平成24年５月９日に公表致しました業績予想の変更はございません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,558	8,482
受取手形及び売掛金	7,024	7,464
有価証券	5,387	5,087
商品及び製品	1,207	1,498
仕掛品	190	201
原材料及び貯蔵品	1,060	992
繰延税金資産	218	202
その他	422	364
貸倒引当金	△27	△29
流動資産合計	23,042	24,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,462	6,391
機械装置及び運搬具（純額）	1,887	1,819
土地	6,456	6,456
その他（純額）	690	692
有形固定資産合計	15,496	15,360
無形固定資産		
のれん	157	165
その他	305	302
無形固定資産合計	463	467
投資その他の資産		
投資有価証券	3,153	2,902
長期貸付金	219	206
繰延税金資産	175	237
差入保証金	1,763	1,727
その他	601	551
貸倒引当金	△340	△326
投資その他の資産合計	5,572	5,300
固定資産合計	21,532	21,128
資産合計	44,575	45,393

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,611	6,355
短期借入金	584	568
未払金	1,100	1,018
未払法人税等	276	180
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	278	265
その他	1,062	1,222
流動負債合計	8,914	9,610
固定負債		
長期借入金	112	81
繰延税金負債	1	1
再評価に係る繰延税金負債	557	557
退職給付引当金	1,056	1,124
資産除去債務	264	270
その他	634	634
固定負債合計	2,627	2,669
負債合計	11,541	12,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,465	4,465
資本剰余金	4,873	4,873
利益剰余金	26,554	26,693
自己株式	△541	△541
株主資本合計	35,352	35,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195	115
土地再評価差額金	△3,624	△3,624
為替換算調整勘定	△4	3
その他の包括利益累計額合計	△3,433	△3,505
少数株主持分	1,114	1,128
純資産合計	33,033	33,113
負債純資産合計	44,575	45,393

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	13,012	14,023
売上原価	9,192	9,887
売上総利益	3,819	4,135
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び見本費	215	225
荷造運搬費	254	264
車両費	131	125
貸倒引当金繰入額	15	9
役員報酬	91	109
給料及び賞与	1,397	1,371
賞与引当金繰入額	136	185
退職給付引当金繰入額	139	110
福利厚生費	225	240
賃借料	276	294
減価償却費	91	94
消耗品費	75	93
研究開発費	51	55
その他	509	530
販売費及び一般管理費合計	3,610	3,709
営業利益	209	425
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	40	33
受取家賃	10	10
その他	17	21
営業外収益合計	81	76
営業外費用		
支払利息	3	4
持分法による投資損失	2	0
為替差損	3	4
その他	2	0
営業外費用合計	11	9
経常利益	279	493
特別利益		
投資有価証券売却益	－	2
負ののれん発生益	－	5
その他	－	0
特別利益合計	－	8

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
特別損失		
固定資産除却損	8	－
投資有価証券売却損	0	－
投資有価証券評価損	－	6
会員権評価損	8	－
事業整理損	14	－
災害損失	18	－
その他	－	0
特別損失合計	50	6
税金等調整前四半期純利益	229	495
法人税、住民税及び事業税	50	217
法人税等調整額	53	△1
法人税等合計	103	215
少数株主損益調整前四半期純利益	125	279
少数株主利益	18	30
四半期純利益	106	249

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	125	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△79
為替換算調整勘定	2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△6	△78
四半期包括利益	118	200
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	177
少数株主に係る四半期包括利益	19	23

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229	495
減価償却費	324	304
負ののれん発生益	－	△5
固定資産除却損	8	－
投資有価証券売却損益（△は益）	0	△2
投資有価証券評価損益（△は益）	－	6
災害損失	18	－
会員権評価損	8	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	7	△11
賞与引当金の増減額（△は減少）	△138	△13
退職給付引当金の増減額（△は減少）	92	65
受取利息及び受取配当金	△54	△44
支払利息	3	4
持分法による投資損益（△は益）	2	0
事業整理損失	14	－
売上債権の増減額（△は増加）	△608	△439
たな卸資産の増減額（△は増加）	△394	△233
仕入債務の増減額（△は減少）	876	744
未払金の増減額（△は減少）	△201	△61
その他	229	219
小計	421	1,027
利息及び配当金の受取額	44	35
利息の支払額	△4	△4
災害損失の支払額	△32	－
法人税等の支払額	△147	△255
営業活動によるキャッシュ・フロー	281	802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,000
有価証券の償還による収入	1,000	1,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	13	429
有形固定資産の取得による支出	△134	△193
その他	33	55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86	291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1	－
長期借入金の返済による支出	△45	△48
配当金の支払額	△185	△94
その他	△16	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248	△171
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△51	924
現金及び現金同等物の期首残高	7,136	7,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,084	8,869

（４）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,050	1,308	12,359	653	13,012	―	13,012
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	0	102	377	479	△479	―
計	11,152	1,309	12,461	1,030	13,491	△479	13,012
セグメント利益	245	22	268	79	348	△138	209

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △１億38百万円には、セグメント間取引消去 １百万円、棚卸資産の調整額 ０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △１億40百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コーヒー関連事業	飲食関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,738	1,635	13,373	649	14,023	―	14,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	109	1	111	387	498	△498	―
計	11,848	1,636	13,484	1,037	14,522	△498	14,023
セグメント利益	412	71	483	72	556	△130	425

(注)　1.　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、飲料製品製造事業、オフィスサービス事業及び通販事業、運送物流事業、保険代理店事業等を営んでおります。

２．セグメント利益の調整額 △１億30百万円には、セグメント間取引消去 ２百万円、棚卸資産の調整額 ０百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △１億33百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

該当事項はありません。